

自動販売機で草原再生募金を！

草原再生協議会が市役所に設置

阿蘇草原再生協議会（高橋佳孝会長）は7月26日、商品代金の一部が阿蘇草原再生募金に寄付される飲料自動販売機2台を市役所に設置しました。

草原の風景写真がラッピングされた自動販売機は、南九州コカ・コーラ（株）とサントリーフーズ（株）が協力し設置したもので、庁舎内と西側駐車場に1台ずつ設置。商品の購入代金の一部が募金に充てられ草原再生関連の活動資金として使用されます。草原再生募金ができる自動販売機の設置は県内では初めてです。



市役所裏玄関に設置された自動販売機

基本的人権の擁護、人権思想の普及高揚に尽力

菅光子氏に法務大臣から感謝状

左から佐藤阿蘇市長、菅さん、中川支局長、阿蘇大津人権擁護委員協議会岩瀬事務局長



法務大臣感謝状伝達式が7月5日市役所で行われ、6月末をもって人権擁護委員を退任された菅光子氏に感謝状が贈られました。

菅氏は、平成19年に人権擁護委員の委嘱を受け、2期6年間の永きにわたり、人権相談や人権啓発活動に取り組みました。また、阿蘇大津人権擁護委員協議会の子ども人権部会

で児童・生徒への人権意識の普及高揚に尽力しました。

渡邊経済部長から辞令を受ける坂本さん

農産物を有害鳥獣から守れ！ 鳥獣被害対策実施隊を結成



農産物を有害鳥獣から守れ！
鳥獣被害対策実施隊を結成
動要請により捕獲・駆除活動をするもので、地方公務員法に定める非常勤の特別職となります。

全国的に有害鳥獣による被害は年々拡大しており、実施隊の設置により迅速に対応できるようになったことから、市における農林業の被害抑制につながるものと期待されます。

市では、鳥獣による農業被害を防止するため阿蘇市鳥獣被害対策実施隊を設置し7月22日、阿蘇市有害鳥獣捕獲協議会構成員のうちの希望者87人に辞令を交付しました。

同協議会捕獲隊長を務める坂本憲一さんは、「有害鳥獣が増えて手におえない現状の中、実施隊の設置は大変良いこと。少しでも被害が少なくなれば」と話していました。

実施隊は、市が被害防止計画の対象として定めるニホンジカ、イノシシ、ニホンザル、カラス類の捕獲に関し、市の出

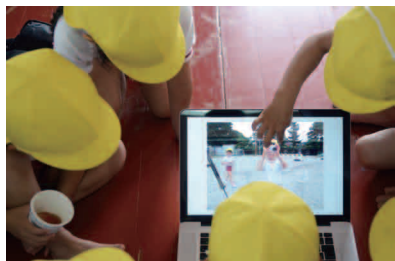


- 1 終始笑顔でシャッターを切って撮影を楽しむ園児たち。「最初は難しかったけど慣れると簡単で楽しい」
- 2 長野氏に指導を受けながら真剣に撮影する園児たち。
- 3 撮影後、自分たちで撮影した写真を鑑賞。自分が撮った写真を見て喜んでいました。

小さな瞳が、大きな絵を撮る！

宮地保育園 心を育む「映育教室」TM

3



京都）が平成21年6月から全国的に活動を展開してきます。今回、カメラ撮影の講師に南阿蘇村の写真家、長野

子どもたちに映像を通してふるさとの素晴らしさを実感してもらおうと6月28日、市主催の「映育教室」が宮地保育園で行われました。

映育とは、幼い時から映像に親しみ感受性を豊かにし、心を育くむ取り組みのことで、今回の映育教室に協賛するジェネラル・イメージング・ジャパン株式会社（東



長野良市さんの話

子どもの目線で撮る写真には変化があり、大人が撮影する写真よりも面白いものが撮れる。2回、3回と続けることでカメラの面白さを体感してもらうことが重要。

撮った写真は良いものを選択する必要があるが、写真を選別する目を養い、日常で物事を選択していくことの重要性を考えるきっかけになれば良い。

良市氏を招き、県内で初めて園児を対象に行われました。

教室では、写真の撮り方やカメラの楽しさを説明し、年長児20人にそれぞれデジタルカメラを貸与。園内の花壇や遊具、友だちなどさまざまな被写体を思い思いに撮影しました。長野氏は「デジタル映像は身近なものになっており、カメラが教育のツールとして活用できれば」と話していました。

市では、映育を通して次世代を担う子どもたちに、自分が住むまちに誇りを持つてもらい、大人では気づかない子どもたちが発見する『新たな魅力』を見出し、地域活性化を図ろうと試験的に取り組んでいます。今後は、参加者を公募し映育教室を行う予定です。

災害復興に感謝

阿蘇マルシェであか牛の牛丼振る舞い

阿蘇市内のホテル・旅館の料理長でつくる「阿蘇料理維新の会」（漆原宏会長）の朝ごはんが好評の阿蘇マルシェは7月7日、災害からの多くの支援に感謝を込めて『復興感謝マルシェ』と題して旧乙姫小学校で開催しました。

今回は、同会が腕を振るって料理した「あか牛の牛丼」が無料で振る舞われ、県内外から多くの来場者があり体育館や教室で料理を堪能しました。会場では



は災害ボランティア団体「災害NGO結」による災害写真の展示もあり、訪れた人は真剣なまなざしで写真に見入っていました。

北九州市から来た家族連れの男性は「阿蘇は大好きなところで何度も訪れている。災害が起きたことを知り、実際に山肌が削り取られているのを目の当たりにしてビックリした」と驚いたようすで話していました。

また、この日は阿蘇温泉観光旅館協同組合の企画で復興感謝キャンペーンとして、同組合加盟の宿泊者にも牛丼が振る舞われました。

きれいな花が並びました 内牧2区老人会が植栽



内牧2区老人会の皆さんから今年も、内牧支所北側の花壇に花を植栽していただきました。

同会では、支所が建築されて以来、毎年植栽しており、今年は黄色やオレンジ色の鮮やかなマリィーゴールドが花壇に並び、人々の目を楽しませていきます。



災害復興に向け、応援メッセージ 宇城市松合小の児童が千羽鶴と寄せ書きを贈呈

宇城市立松合小学校の児童が「放課後子ども教室」で千羽鶴と寄せ書きを作成し7月1日、市役所に贈呈しました。

いた人々への恩返しとして、阿蘇市の方が早く元気になってほしいとの願いを込めて復興へのメッセージを示した寄せ書きと千羽鶴を約半年かけて作成しました。

子どもたちが丹精込めて折った千羽鶴と心温まる寄せ書きは左記により展示しますのでご覧ください。

小学校がある松合地区は平成11年9月に台風18号で高潮が発生し、大きな災害を経験したところです。



今回、同校の全校児童48名が、かつて災害復興に支援

【展示場所と期間】

▼一の宮図書館

8月18日(日)まで

▼阿蘇図書館

8月20日(火)から9月1日(日)